

友を訪れ感謝を伝える 友好都市サイパン市を訪問

10月23日(金)～26日(月)、小笠原市長が北マリアナ諸島サイパン市を訪れ、ツデラ・サイパン市長を表敬訪問しました。

登別市とサイパン市は、平成18年11月に市民の文化や農業交流、生徒の学校訪問などによる相互交流を推進するため友好都市の提携を結びました。サイパン市との交流は、昨年引き続き今年2月、ホップウッド中学校の生徒が来登し、市内の中学生との交流や湯まつりの見学、雪遊びなど北国の冬を体験しています。

このたびの訪問は、来年1月に任期満了で退任するツデラ市長に、友好都市の礎を築いてこられた尽力に感謝を伝えるためのものです。

また、滞在中には、ホップウッド中学校を訪問したほか、北マリアナ諸島フィティアル知事との面談、大規模農場の視察などを行いました。



▲ツデラ市長(右)に感謝状を手渡す小笠原市長

亀田記念公園で 自然を満喫

自然ふれあい教室



▲クラフト作りに取り組む参加者たち

10月31日(土)、亀田記念公園で『自然ふれあい教室』(市主催)が開催され、小学1～3年生とその保護者10組が参加しました。

この催しは、今年度の特別予算枠に設けられた『明日のまちづくり事業』の一つで、亀田記念公園を利用して親子が自然の中で遊んだり、作品作りなどを室内で楽しんだりできるように開催されました。

この日は、NPO法人ねおすの上田融さんの指導の下、屋外でブランコを作ったり遊んだり、ネイチャーゲームをしたりするなど、参加者は寒さを忘れ遊びに没頭。最後に、木の実や落ち葉を拾い、自然の素材を生かしたクラフト(時計)づくりを親子で体験し、色とりどりの個性豊かな時計を作りあげました。

市内にこんなところが あったんだ!

秋の市民見学会

10月26日(月)、『市民見学会』(市主催)が行われ、個人参加の16人が若山浄化センターとのぼりべつ酪農館、カント・レラなどを見学しました。

当日はあいにくの雨のため、足湯体験は中止になりましたが、若山浄化センターの見学では、「地下はこんな広い施設になってるなんて知らなかった」といった声が聞かれるなど、参加者は普段目にすることの少ない市内の施設について理解を深めていました。また、今回初めて行われたのぼりべつ酪農館のバターづくり体験では、生クリームと牛乳をペットボトルに入れて分離するまで振り続け、できたてのバターを早速試食。参加者からは、「バターがこんなに簡単に作れるとは思わなかった。自宅でも試してみよう」と話していました。



▲のぼりべつ酪農館でのバターづくり体験の様子